

高齢者の移動支援に 地域ボランティアの力を



加藤正員議員



ボランティア運転の今後は

高齢者が通院や買物に困っているという声をよく聞く。現在、市内では4つのコミュニティでボランティア運転による移動支援を行っているが、事故対応や人員確保など課題もある。現在策定中の地域公共交通計画での位置づけは、どのようなものか。また、それを踏まえ来年度以降の役割は、どのようなになるのか。



A

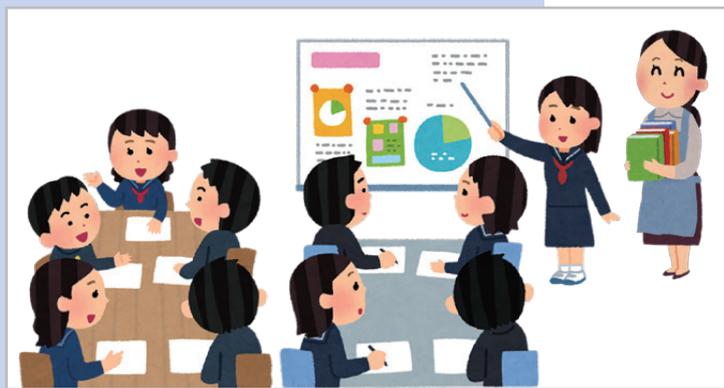
健康福祉部長 来年度以降の方向性としては、高齢者等移動手段確保モデル事業の必要性や有効性が認められたため、来年度の本格実施に向けて検討を行っている。先般開催

した地域包括ケアシステム推進協議会でも、継続していくうえでの課題として、保障が必要ではないかと意見をいただいた。改善点については機会を捉え、国等へ働きかけを行っていく。

学校司書の 処遇の改善は



松浦正武議員



子どもたちを支える学校司書

学校司書は、学校図書館を利用して学習や発表をする多くの子どもたちを支えている。学校司書の処遇改善は進んでいるのか。教職員の働き方改革に合わせて、短期的、または一時的な雇用から長期的な正規職員化が求められているが、市の考えは。



A

教育長 学校司書は、今年度から市会計年度任用職員としての雇用となる。昨年度と比べ、時給の増額や期末手当などの支給により、報酬における処遇は改善されている。安定した雇用を確保することは重

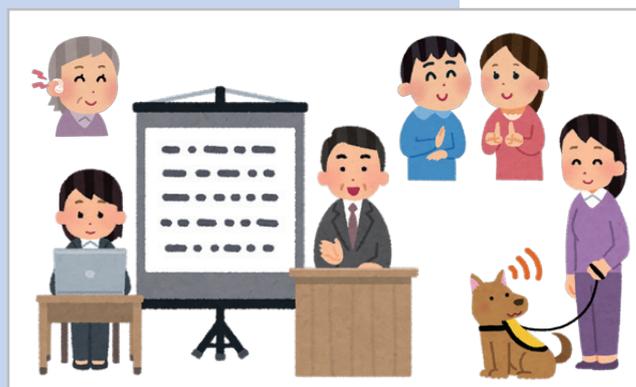
要であるが、市の正規職員としての雇用は、本市定員適正化計画から、現状としては難しい。さらなる処遇の改善について、国や県教委に対し、賃金の補助や県費負担による学校司書の配置など要望を続けていく。

聴覚障がい者支援 アプリの活用は



内田俊英議員

Q 相手の発言をタブレットなどで瞬時に活字化できるアプリができ、特に中途失聴・難聴者のコミュニケーションの環境が格段に向上している。市の窓口でこのような支援を行う場合、タブレットなどの端末機の準備が必要だが、このアプリは、個人のスマートフォンで利用できる。市の窓口業務に限らず、支援に有益であると考えますが、いかがか。



いろいろな形の支援があります

A

健康福祉部長 窓口での

専用アプリを活用した対応やコミュニケーションボードなどの導入活用も検討したい。また、各課の窓口対応でも、筆談などの手段が十分に生かせるよう研修などを充実したい。

「本市における障がい理由とする差別の解消の推進に関する職員対応要領」に基づき、来庁者の手続きがスムーズに行えるよう、合理的配慮の提供に一層努めたい。



城下町・丸亀 きれいなまちへ



東 由美 議員

Q こんにちはから丸亀城までの区域は、歩いて楽しめる空間であるが、たばこの吸い殻やごみのポイ捨てが後を絶たない。本市まちをきれいにする条例が機能していないのではないかと。他市では喫煙禁止区域を設けて対処している。本市でも環境美化重点区域を設け、駅から丸亀城までの区域を喫煙禁止区域としてはどうか。



城下町らしい環境美化を

A

産業文化部長 県内で

は、高松市が一部地域を喫煙禁止区域に規定し、路上表示や巡回などを行い、たばこのポイ捨ての抑制などに一定の効果を得られていると聞く。本市でも港から丸亀城にかけては、駅や公園、観光施設のほか、商

業施設等も多く建ち並び、多数の人が行き交う空間となっている。ごみのない美しいまちの実現は、本市のイメージアップ、観光振興やまちの活性化につながることから、環境美化重点区域や喫煙禁止区域の指定に向け、具体的に検討していきたい。



自営業者に 傷病手当を



中谷真裕美議員

コロナウイルスに感染し、働けない期間の生活保障として、「傷病手当」が国民健康保険加入者にも支給されるが、その対象は被雇用者のみで、自営業者やフリーランスは除外されている。この不公平を補おうと、個人事業主へも「傷病手当金」を支給できるよう、独自に制度化する自治体も増えている。本市でも独自の制度をつくり、同じ国保税を納めながら、命に関わる問題で支援の格差が生じないようにしてほしい。



自営業者やフリーランスにも支援を

A 市長 自営業者などについて、所得補償としての妥当な金額算出が難しいなど課題があり、国保「傷病手当金」の対象は被雇用者のみとなって

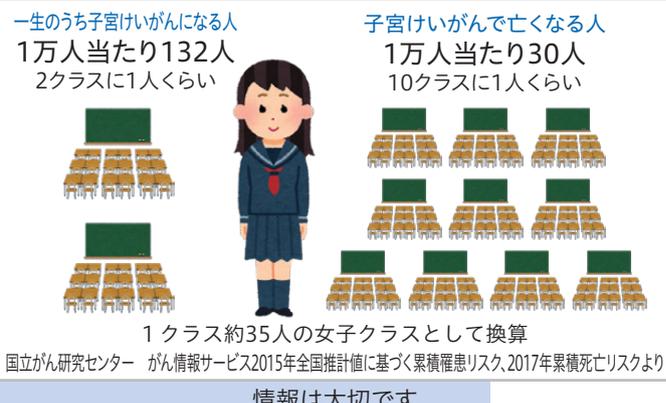
いる。全国市長会も国に対し、支給対象の拡大を図るよう要望している。国による拡充などが図られたときには、本市としても迅速かつ適切に対応したい。

子宮頸がん予防 市民へのアプローチは



神田泰孝議員

数年前、HPVワクチンの安全性を懸念する報道があり、現在、自治体からの積極的な勧奨はされていないが、定期接種としての公費補助は継続している。厚生労働省は、多様な症状がワクチン接種後特有のものではなく、因果関係は確認されていないとの見解である。子どもたちの未来のために、性別を問わず、有益な情報を周知するべきではないか。



A 健康福祉部長 現在、市広報紙やホームページに掲載している。新年度からは、年度内に定期接種期限の開始と終了を迎える小学6年生と16歳

の女子や保護者に対し、ワクチンに関する絵リーフレットを送付する予定である。提案を踏まえ、男子への周知も進めたい。

社会不安が生み出す コロナ禍の差別



岡田 剛 議員



社会不安から生まれる差別があります

コロナ禍で世界中が閉塞感に包まれ、これまでの行動変化を余儀なくされた。市では、コロナ関連の偏見や差別、排除をどのように検知しようとしているのか。これまでに確認されたものはあったのか。社会不安に起因する部落差別をはじめ、障がい者や子ども、女性、外国人などに対する差別事象の状況は。



A

市長 市に寄せられたコロナ差別の相談はない。インターネット上の差別書き込みは、県と連携してサイト管理者に削除要請したものが103件（うちコロナ関連36件）、そのうち実際に削除したものが9

件（うちコロナ関連4件）あった。その他の差別事象についても、市への相談や訴えはない。引き続き様々な人権課題に関し、相談窓口の周知や被害者への迅速な支援に努めていく。

QRコードの表示

各議員の質問欄に、このような画像を表示しています。

これはバーコードの一種で〈QRコード〉と呼ばれ、ウェブサイトやメールアドレスを配布する際によく使われます。

バーコードリーダー対応のスマートフォンなどでこのQRコードを撮影すると、質問する議員の姿を簡単に動画でご覧いただくことができます。

使い方

ご利用の機種によって異なりますが、以下のとおりです。

詳しい使用方法是、ご利用のスマートフォンの取扱説明書等をご確認ください。

1. スマートフォンでQRコードを読み取ります。
バーコードに対応しているスマートフォンでバーコードリーダーを起動し、QRコードを撮影します。

2. URLや情報が表示されます。
表示されたアドレスをクリックすると、議員の質問を動画で見ることができます。

傍聴自粛のお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市議会では当分の間、本会議や委員会の傍聴自粛をお願いしています。

なお、傍聴を希望される方は、マスクの着用や入場時の手指消毒など、感染症対策にご協力

のうえ、発熱や倦怠感・咳など、体調不良のある場合は、傍聴をお控えください。

※ソーシャルディスタンス確保のため、入場を制限する場合がありますので、ご了承ください。